

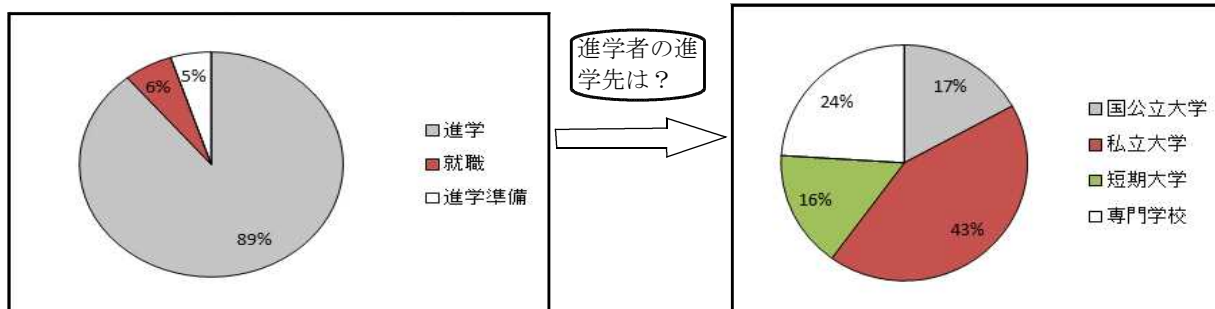
本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

1 学校の現状や課題

前回5か年計画を策定した平成23年以降、地域に支えられ、貢献することで、進路指導、特別活動において一定の評価を得てきた。入学者の90%以上の生徒が進学夢を託して入学してくる。特に、四年制大学への進学を希望する生徒が多く、その大半が県内の国公立大学を志望している。こうした故郷秋田への強い愛着も西高生の大きな特色であり、それはまた保護者の願いでもある。この思いに応えられるよう進路指導体制を確立してきたが、定数減、学習指導要領の改訂、大学入試改革と時代は大きく変化していく。こうした変化に柔軟に対応しつつ、創立40周年に向けて、これまで培われた西高の文化をさらに発展させ、生徒一人一人の夢の実現にチーム西高・オール西高で進んでいく。

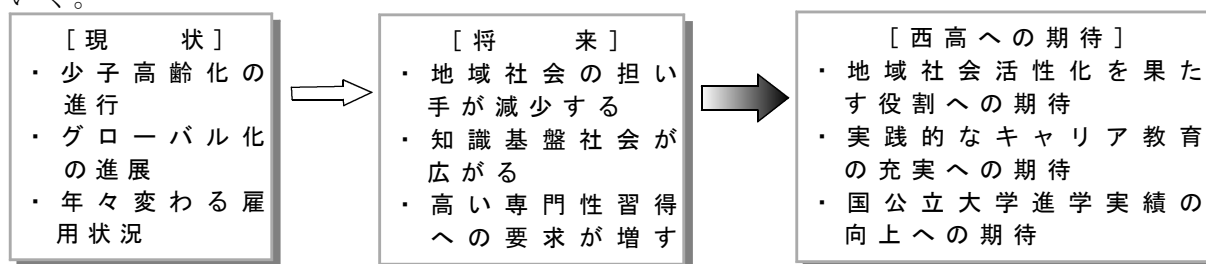
平成30年3月卒業生

進学先の割合



2 学校を取り巻く将来の状況の予測

秋田県の少子化は今後も続くことが予想される。本校の通学エリアである男鹿潟上南秋地区における中学校卒業生数も10年後は38%の減少が予測されている。また、産業構造の変化や人工知能（AI）の普及により、生徒を取り巻く雇用・就業状況は激変することが予想される。また、18歳選挙権により高校でのシチズンシップ醸成の計画的な指導も必要である。高校教育の果たすべき役割は現在以上に一層重要なものとなり、社会的・職業的自立に向け必要な資質・能力を育成することが求められていく。



3 目指す方向性や学校像

知識基盤社会の進展は、高い専門性とコミュニケーション能力の育成を学校教育に一層求めるようになった。高校3年間で、現代社会が求める豊かな人間性を育成し、高い専門性と知識を身に付ける上級学校進学への可能性を最大限に伸ばすことが本校の進むべき方向性・使命である。

特別活動の充実として、生徒会活動、部活動、ボランティア活動等をとおして自主性、協調性、責任感、連帯感を育成する。また、友情を深めるとともに、学年を離れて仲間や指導者(教員)とふれあうことにより学級内とは異なる人間関係の形成や充実を図る。

西高の目指す学校像

(1) 生徒一人一人の進路実現の達成に尽くす学校

生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進し、自信を持って将来設計できる能力を育成し、多様な進路実現に応える学校

(2) 特別活動等を充実させ豊かな心と健やかな体を育む学校

生徒会活動、部活動、ボランティア活動等をとおして自主性、協調性、責任感、連帯感を育成する学校

(3) 地域と共に歩む学校

主体的に取り組む体験活動を推進し、地域社会との連携・協働をとおして、郷土への愛着と誇りを育む学校

4 5年間で達成を目指す具体的目標

(1) 生徒一人一人の進路実現の達成に尽くす学校

平成30年3月の卒業生（173名）の進路状況は以下の通りである。

	国公立大学	私立大学	短期大学	専門学校	就職	進学準備
人数	27	66	24	37	11	8
割合	15.6%	38.2%	13.9%	21.4%	6.4%	4.6%

* 大学及び専門学校に占める医療看護系進学者は32名である。

西高の進路状況における特徴は以下の3点に集約される。

- ① 年度当初に国公立大学を志望する生徒で、実現できた生徒は希望者の38.6%の27名と大変厳しい結果であった。
- ② 医療看護系志望者の進路達成率は100%であり、全員が進学を果たした。
- ③ 最終就職内定率は100%であり、第1志望の内定率も100%であった。公務員については、希望者全員が必ずしも第1志望を達成できたわけではなかった。今後もこうした傾向が続くことが予想されることから、進路目標として次の3点を目指す。

[国公立大学進学目標]

国公立大受験者の50%、もしくは35名以上の進学実数を実現する。

[医療看護系進学目標]

医療看護系進学希望者の合格率90%以上を維持する。

[就職内定目標]

就職希望者(公務員含む)の内定率を90%以上にする。

(2) 特別活動等を充実させ豊かな心と健やかな体を育む学校

- ① 生徒会活動を活性化することで公民的資質を育てる。
- ② 全国大会への出場部活動を増やす。
- ③ 社会貢献に自主的に取り組む姿勢を育てる。

(3) 地域と共に歩む学校

地域との連携・協働関係をより強化し、地域社会から慕われ、誇りとされる学校を築いていくために以下の2項目に重点的に取り組む。

[地域住民との信頼関係の構築]

- ・地域の希望となり、住民に応援される部活動を育てる。
- ・地域懇談会を拡充・発展させる。
- ・地域と一体となった学校行事を作り上げる。

[体験活動の重視]

- ・課外活動を通して交流を深める。
- ・地域の活動に参加し、地域の活性化の担い手になる。
- ・地域の特性を活かしたキャリア教育を推進する。

目標を達成するための具体的な取り組み

(1) 生徒一人一人の進路実現の達成に尽くす学校

① [生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進する]

生徒の人的な成長を促し、進路適性を高めます。

個々のキャリア発達を支援し、将来への基礎を築く！

- ・ 1年＝基本的な生活習慣の確立を図るとともに、探究活動を通して興味を持つ分野への理解を深める。
- ・ 2年＝コミュニケーション能力を高めるとともに、探究活動を深め、より専門的な知識を習得する。
- ・ 3年＝自己の特性を理解して将来を展望し、探究活動の成果を進路選択、進路実現に生かす。

② [国公立大学受験者の50%、もしくは35名以上の進学実数を実現する]

学問への探究心と向上心を持ち続ける生徒の可能性を支援します。

周辺大学との連携等により、進学意識の高揚を図る！

- ・ 1年＝各種ガイダンス等を通して早期の進学態勢を確立するとともに、読解力、表現力・計算力（読む・書く・計算の徹底）などの基礎力を強化する。
- ・ 2年＝基礎・基本の定着を図るとともに、英検等の資格取得を奨励する。また、進路達成に向けた思考力や表現力を養成する。
- ・ 3年＝更なる学力向上を図るとともに、AO・推薦入試の積極的活用を意図した小論文・面接指導を充実させる。

③ [医療看護系進学希望者の合格率90%以上を維持する]

秋田の医療看護に尽くすことを決意した生徒を支援します。

近隣施設との連携関係を活かした体験学習を推進する！

- ・ 1年＝医療に関する出前講義や体験活動を通して志望を確かなものにする。
- ・ 2年＝医療現場におけるインターンシップを通して実践的な知識を身につけさせる。
- ・ 3年＝医療看護系に特化したガイダンスの実施と課外補習を年間を通して実施する。

④ [就職希望者の内定率を90%以上にする]

多様化する社会に勇気をもって飛び出していく生徒を支援します。

キャリア教育を通して、自己を見つめ将来設計を描く！

- ・ 1年＝職業調べ学習を通して自己の適性を見つめさせる。
- ・ 2年＝地元の企業、公共施設でのインターンシップを通して職業観、勤労観を養う。
- ・ 3年＝就職・公務員希望者に対して、課外補習や担当教員による計画的個人指導を強化する。

目標を達成するための具体的な取り組み

(2) 特別活動等を充実させ豊かな心と健やかな体を育む学校

- ・生徒会活動を通して社会的責任を理解し、互いに尊重し合う態度を育む。
- ・部活動を奨励し全国大会への出場部活動10競技（文化部含む）を目指す。
- ・ボランティア活動に積極的に参加する。

(3) 地域と共に歩む学校

[地域住民との信頼関係の構築]

- ・地域住民の活力となり、希望となるような全国に通じる部活動を育てる。
- ・生徒と教職員に地域住民、教育振興会や後援会、PTA、学校評議員、周辺公共機関等を加えた拡大地域懇談会を通して、創造的学校文化を作り上げる。
- ・地域の伝統文化を学ぶ体験学習を取り入れ、文化祭等の学校行事を通して地域文化の特色を内外に発信していく。

[体験活動の重視]

- ・近隣の小中学校や特別支援学校での部活動指導等を通して、生徒同士の交流を深め、地域のリーダーを育成し、校種間の協調関係構築に努める。
- ・生徒会を中心に、地域の行事に積極的に参加することで、地域に元気を与える。
- ・生徒指導を通して地域から信頼されるさわやかで澁刺^{はつらつ}とした高校生を育て、地域力を活かしたキャリア教育を推進する。